

## SER と ESTAR

### Q-1: 英語の BE 動詞にあたるスペイン語の動詞は？

SERとESTARが英語の be 動詞「…である」にあたり、どちらも主語＋動詞＋補語という構文をとります。補語は主語と性・数が一致します<sup>1</sup>。

- ser: 「性質」「種類」を表す。
- estar: 「状態」「所在」を表す。

さらに詳しい説明は後でします。

### Q-2 SER はどのように活用変化しますか？

SER は次のように活用変化します。

soy	somos
eres	sois
es	son

一般動詞の規則変化とは大きく違います。このまま全部覚えましょう。

例：

¿Eres estudiante? – Sí, soy estudiante.	君は学生？—うん、僕は学生だよ。
¿Sois japoneses? –Sí, somos	君たちは日本人ですか？—はい、私たちは日

<sup>1</sup> →「名詞の性と数」、「形容詞」

japoneses.	本人です。
¿Es fácil el español?	スペイン語はやさしいですか。

### Q-3: ESTAR はどのように活用変化しますか？

ESTAR は次のように変化します。

estoy	estámos
estás	estáis
está	están

ESTARはAR動詞の一種なのでcantarの活用変化とよく似ています。注意点は一人称単数がyで終わること、そして強勢が全部語尾にあることです<sup>2</sup>。

例：

¿Cómo <b>estás</b> ? –Estoy bien.	元気かい？—元気だよ。
¿Dónde <b>estáis</b> ? - Estamos en la universidad.	君たちはどこにいるの？—大学にいるんだ。
La sopa <b>está</b> fría.	スープは冷めている。

### Q-4: SER と ESTAR の基本的な違いは？

SER は主語が「何であるか、どのようなものか、どのような性質であるか」を示します。

<b>Soy</b> estudiante.	私は学生です。
------------------------	---------

<sup>2</sup> 強勢は語根に移動しません。これは語根の e はもともとラテン語になかったためです。e はスペイン語の時代になって後からつけられた母音です。スペイン語の特徴として s+子音で始まる語を嫌い、その前に e をつけました。現在でも、スペイン語圏の人は英語を発音するとき、よく e をつけて発音します。

Juan <b>es</b> inteligente.	フアンは頭がよい。
Mañana <b>es</b> domingo.	明日は日曜日だ。
Las casas de mi pueblo <b>son</b> de piedra.	私の村の家は石でできています。

一方、ESTAR は主語が「どのような状態になっているか、どこにいる（ある）か」を示します。

Las ventanas <b>están</b> cerradas.	窓は閉まっている
Los niños <b>están</b> cansadas.	子供たちは疲れている。
¿Dónde <b>estás</b> ? – <b>Estoy</b> aquí.	君はどこにいるの？—ここにいるよ。

このような違いから、SER は「あまり変化しない性質」を示し、ESTAR は「一時的な状態」を示すような対比が生まれます。

Adriana no es que <b>esté</b> <sup>3</sup> guapa; <b>es</b> guapa	アドリアナは美しくなっているというのではなくて、もともと美しいのだ。
--	------------------------------------

しかし、SER が「あまり変化しない性質」を示す、といっても、まったく変化しない、ということではありません。たとえば、次を比べてみましょう。

Pedro <b>es</b> casado.	ペドロは既婚者です。
Pedro <b>está</b> casado.	ペドロは結婚しています。

最初の文は、ペドロが何であるか（未婚者？、それとも既婚者？）を示し、後の文は、ペドロの未婚・既婚の状態（結婚しているのか、いないのか）を示しています。このように、両者は類似したことを示しているのですが、そのとらえ方が違います。

<sup>3</sup> ESTAR の接続法現在三人称単数。

## \* 参考

### 1. SER / ESTARの受動文<sup>4</sup>

SER+過去分詞で「…(ら)れる」という意味の受動文を作る。

La casa <b>fue construida</b> hace quince años.	家は15年前に建てられました。
La noticia <b>fue publicada</b> por una revista.	そのニュースはある雑誌によって発表された。

ESTAR+過去分詞で「(結果としての)状態」を示す受動文を作る。

La casa <b>estaba</b> totalmente <b>construida</b> cuando la compramos.	私たちが買ったとき家はもう完全にでき上がっていた
---	--------------------------

### 2. ESTAR+現在分詞で進行形の文を作る<sup>5</sup>。

<b>Estoy estudiando</b> en mi cuarto.	私は部屋で勉強しているところです
---------------------------------------	------------------

### 3. SERの派生的な意味

SERは次のような派生的な意味、副次的な意味で用いられることがある。

(a) 「…で行なわれる、起こる」

La boda <b>es</b> este sábado.	結婚式は今週の土曜日です。
El partido <b>será</b> a las siete.	試合は7時からです。

<sup>4</sup> →「過去分詞」。

<sup>5</sup> →「現在分詞」。

(b) 「…になる」

¿Qué será de mí si te vas?	あなたが行ってしまったら私はどうなるのでしょうか？
----------------------------	---------------------------

(c) 「ある、存在する」<sup>6</sup>

Pienso, luego <b>soy</b> .	我思う、ゆえに我あり 《デカルトの言葉》
Quando termine este trabajo, <b>soy</b> contigo.	この仕事が終わったら君のところへすぐ行くよ。

#### 4. ESTAR の派生的な意味

ESTAR は次のような派生的な意味、副次的な意味で用いられることがある。

(a) (... [de]) しているところである、…中である; (...の [de]) 仕事をしている

<b>estar de</b> compras	買物をしている
<b>estar de</b> luto	喪中である
<b>estar de</b> viaje	旅行中である
<b>estar de</b> visita	訪問中である
<b>estar de</b> vacaciones	休暇中である
¿Está el Señor García? -- Esta semana <b>está de</b> viaje.	ガルシアさんはいらしゃいますか—今週は出張中です

(b) (...が [en]) わかっている、[否定文で] (...を [en]) 聞きそびれる; (...を [en]) 信じる、(...と [en]) 思う

<sup>6</sup> ラテン語に由来する古い用法。

Perdona, no <b>estaba en</b> lo que decías. ¿Puedes repetir?	ごめん、君の言っていることを聞きそびれてしまった。もう一度言ってくれない？
--	---------------------------------------

(c) まさに (... [para 不定詞]) しようとしている、…するところである; (…の [para]) 状態である、…の気分である

El concierto <b>está para</b> empezar.	コンサートはもう始まるところです。
Hoy no <b>estoy para</b> bromas.	日私は冗談を聞く気分でない。

(g) まだ (... [por 不定詞]) していない; …を [por]) したいと思う、支持する

Las camas están <b>por</b> hacer.	まだベッドの用意ができていない
Estoy <b>por</b> ir contigo.	私は君と行きたいと思う

(4) 「準備ができている」という意味で単独で用いられることもある。

¿Está la comida? - ¡Ya <b>está!</b>	食事はできている?—できていますよ
¿Para cuándo <b>estarán</b> los zapatos?	靴はいつごろまでに仕上がるでしょうか

## \* スペイン語の「理由」

「有名」は性質か状態か。Madrid es famosa por algunos museos. という文で、es famosa...は「有名だ」という状態を表している気がするのですが、これは性質のほうになる、というのがよくわかりません。

この文の意味は「それ（マドリード）はいくつかの美術館で有名です」となります。確かに「有名だ」というのは「(有名という) 状態」を示しているようですが、一方 Madrid が持っている「性質」を表しているようにも思えます。両者の違いはこの場合微妙ですが、SER はその性質を持っていることを示し、ESTAR はそのような状態を保ちながら存続していることを示します。ここでマドリードが有名だというのは、「有名という状態である」のではなく、「有名だ (という性質を持っている)」にあたります。

なぜ、このような違いが生まれたのでしょうか。それは、SERはラテン語のESSEの意味を引き継ぎ、主語の(基本的な)性質(「本質」)を示していたからです。これは「本質、エッセンス」essenceという言葉の語源にあたります。一方、ESTARの語源のラテン語STAREは、「そのような状態で立っている(存続している)」という意味でした<sup>7</sup>。

---

<sup>7</sup> 英語の stand と比べてください。